

米国小型株サステナブルグロース・ファンド

(愛称: ダイヤの原石)

追加型投信 / 海外 / 株式

販売用資料

2022年5月

SUSTAINABLE GROWTH FUND

ビジネスのクオリティに着目
徹底したリサーチで企業を厳選

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

目論見書のご請求・お申込みは…

 **池田泉州TT証券**

〈販売会社〉

商号等 池田泉州TT証券株式会社
金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号
加入協会 日本証券業協会

設定・運用は…

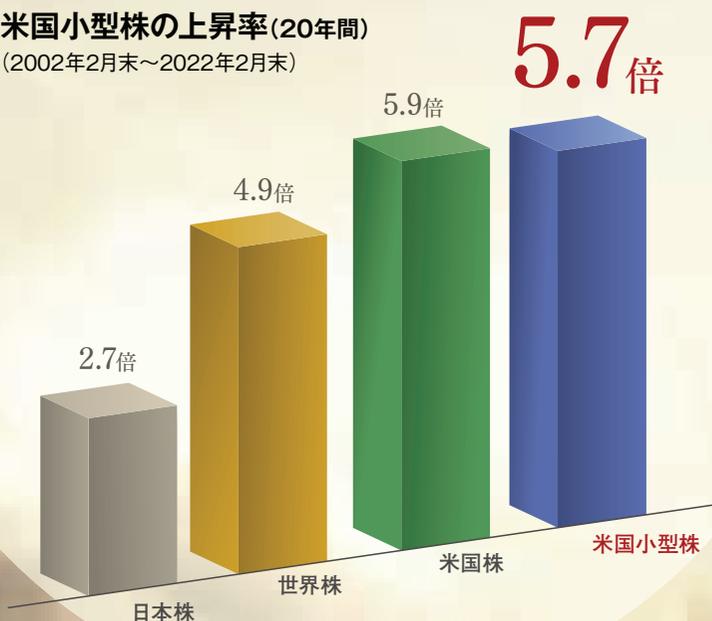
大和アセットマネジメント
Daiva Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

世界経済をリードし続ける米国 その中でも高い成長を実現してきた小型株 卓越した銘柄選定を行なう ケイン・アンダーソン・ラドニック社が運用

世界株を大幅に上回る
 圧倒的な成長を実現してきた
米国小型株

米国小型株の上昇率(20年間)
 (2002年2月末~2022年2月末)



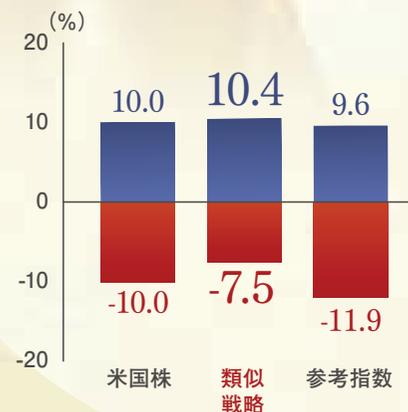
米国小型成長株運用で優れた成績を誇る
 ケイン・アンダーソン・ラドニック社の
運用力

下落を抑制しながら、高い収益を獲得

類似戦略の相場上昇/下落局面における追従率*1(過去5年間)

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

(2022年2月末現在)



株式市場が10%上昇した場合、
 類似戦略は10.4%上昇
 上昇追従率
104%

株式市場が10%下落した場合、
 類似戦略は7.5%下落
 下落追従率
75%

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス実績 (類似戦略の運用開始日(1998年1月初)～2022年2月末)

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。



同社が運用する類似戦略の米国籍ファンドは
評価機関から高い評価を獲得しています。

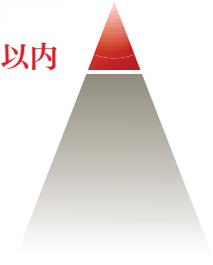
Morningstar
レーティングにおいて

5つ星を獲得



US-Smallカテゴリーに属する
ファンドの中で
過去5年間に於いて

上位5%以内
に位置
しています。



※2022年2月末現在、類似戦略は1,455本中14位。
※それぞれのファンドは運用方針などの商品性が異なるため、
上記はあくまでも参考であることにご注意ください。

©2022 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

※裏表紙の「Morningstarレーティングに関する注意事項」をご確認ください。

※類似戦略ファンド「Virtus KAR Small-Cap Growth Fund I」

※当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証した
ものではありません。

同一戦略で運用を行なう「日本初」*2のファンド

米国小型株サステナブルグロース・ファンド

*2 ケイン・アンダーソン・ラドニック社が実質的に運用を行なう、日本で初めて設定された公募投資信託となります。

※1 上昇(下落)追従率は、株式市場が10%上昇(下落)したときに、類似戦略が10%に対してどれだけ上昇(下落)したかを示す値です。※ケイン・アンダーソン・ラドニック社とは、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントをさします。当資料では「ケイン・アンダーソン・ラドニック社」といいます。※類似戦略は費用控除前、米ドルベース、配当込みのパフォーマンス。※参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。※指数については、裏表紙の「当資料で使用した指数について」をご覧ください。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。(出所)ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ、Morningstar Directのデータに基づき大和アセットマネジメントが作成
当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※裏表紙の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

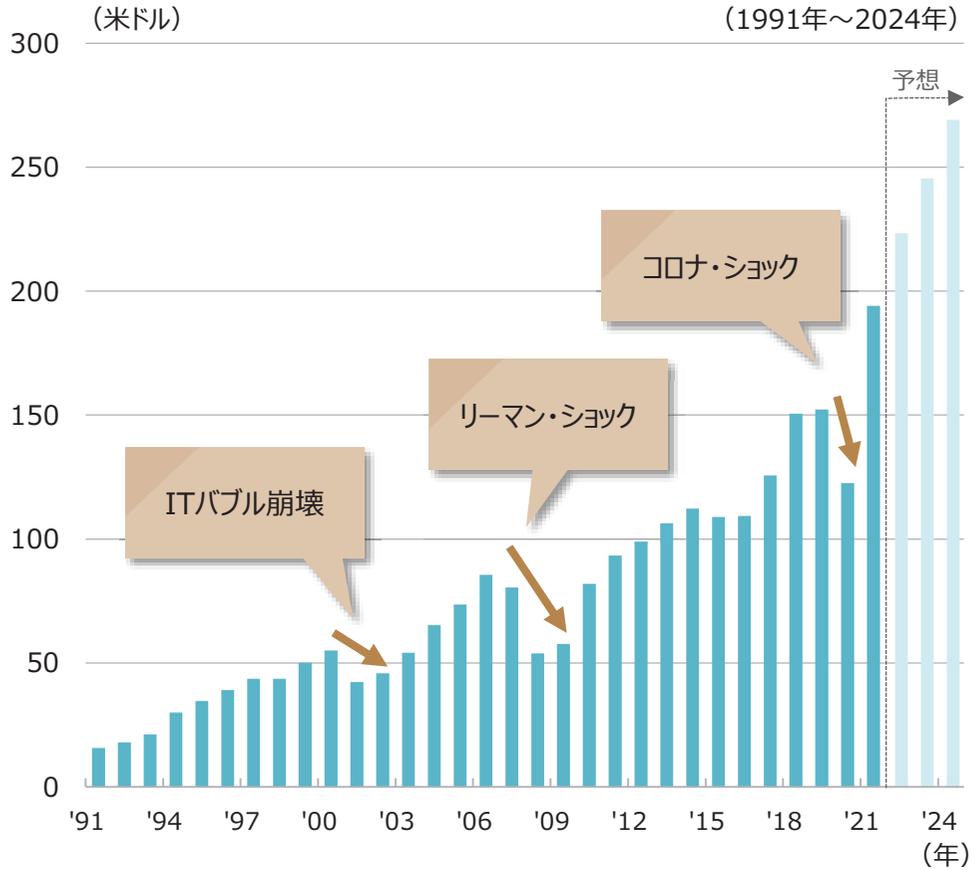
米国市場の魅力①

- 世界経済をリードする米国株は、世界株と比較しても圧倒的なパフォーマンスを示しています。
- 米国企業の株価と一株当たり利益（EPS）は中長期的に連動する傾向があります。一株当たり利益はコロナ・ショックの影響で一時的に落ち込んだものの、2021年は回復し今後も拡大することが予想されています。

世界経済をリードする米国株



米国株の一株当たり利益（EPS）の推移

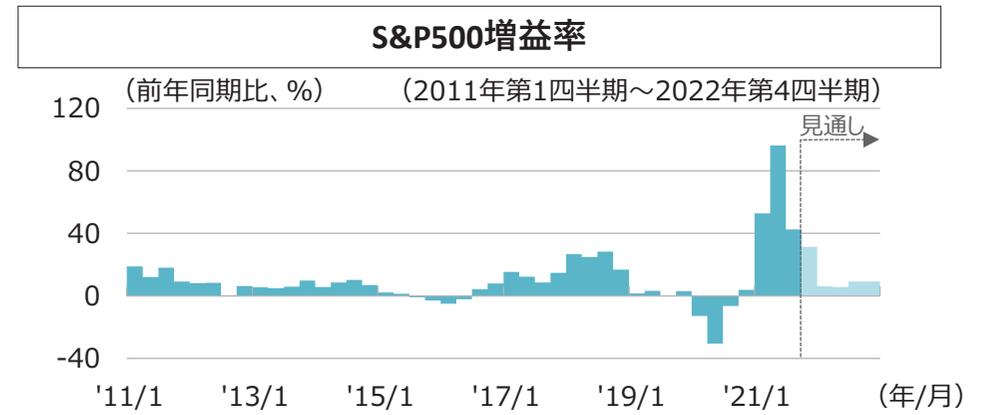
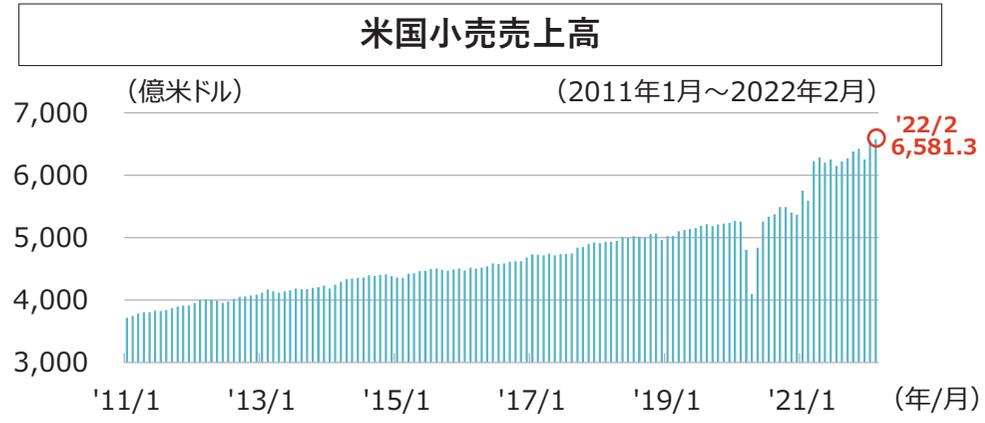
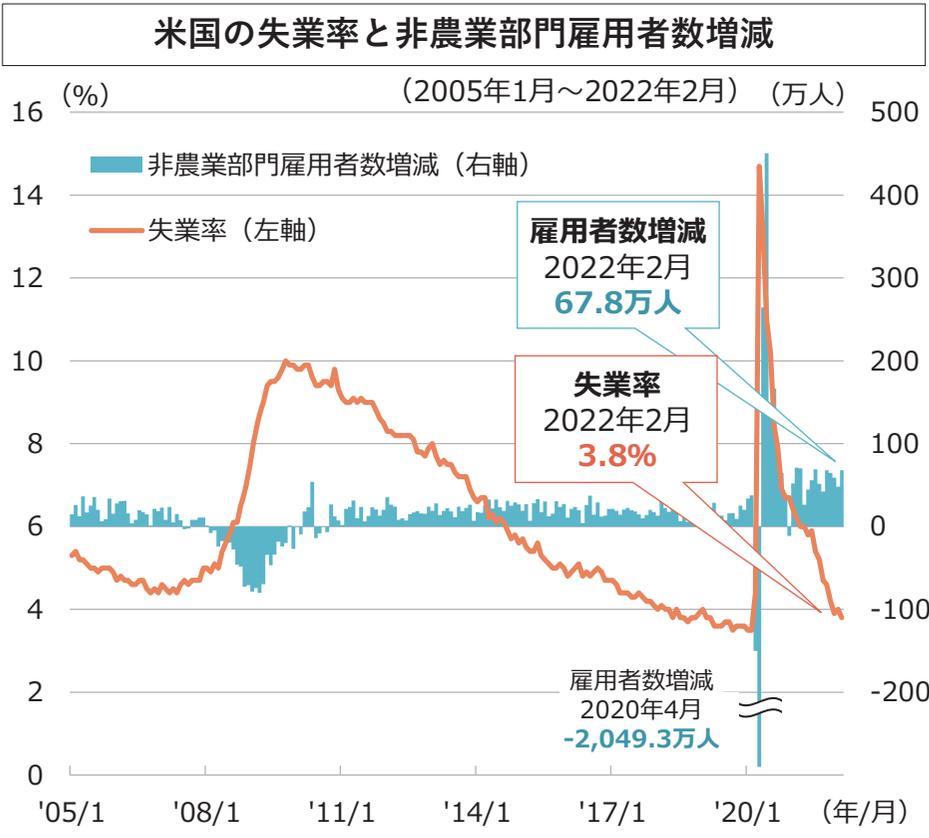


※指数については、裏表紙の「当資料で使用した指数について」をご覧ください。 ※2022年以降の一株当たり利益は2022年3月現在のブルームバーグの予想値。

(出所) ブルームバーグ

米国市場の魅力②

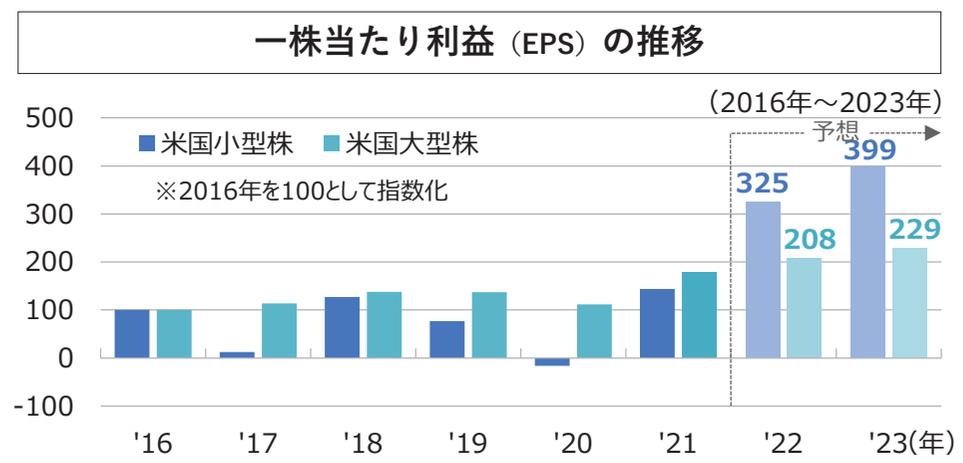
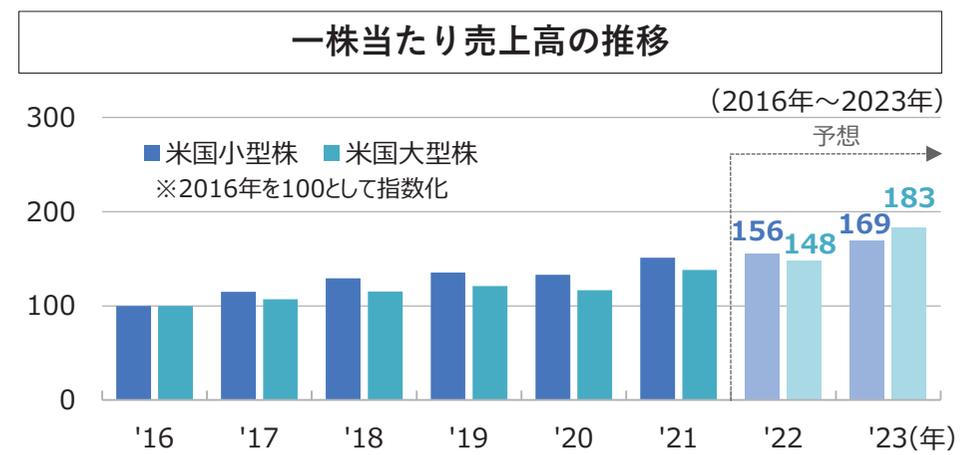
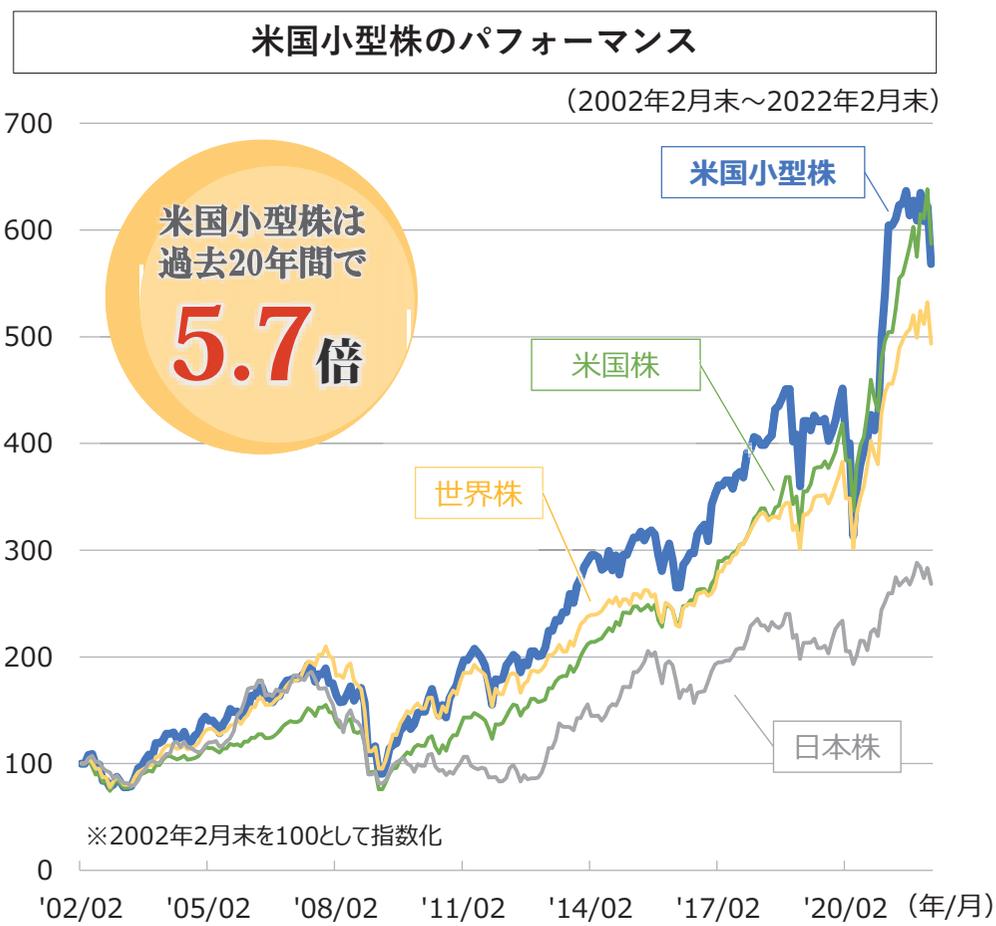
- 新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、米国は深刻な景気後退局面に陥ったものの、足元は、米国政府の景気対策の効果もあり、回復傾向にあります。
- 経済活動の再開に伴い、過去数カ月において大きく落ち込んでいた雇用市場は改善しつつあり、米国経済において最も重要な要素の一つである小売売上高も増加基調で推移しています。また、企業業績についても、2021年に続き増益の継続が予想されています。



※米國小売売上高は季節調整済。※S&P500増益率の2021年第4四半期以降は、2022年2月現在のアナリスト・コンセンサス。

米国小型株投資の魅力①

- 米国小型株は過去20年間に於いて世界株や日本株を上回り、また米国株と同等のパフォーマンスを示してきました。
- 米国小型株は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるものの、中長期的には大型株を上回る成長が期待されます。



※指数については、裏表紙の「当資料で使用した指数について」をご覧ください。 ※2022年以降の一株当たり売上高と利益は2022年3月現在のブルームバーグの予想値。

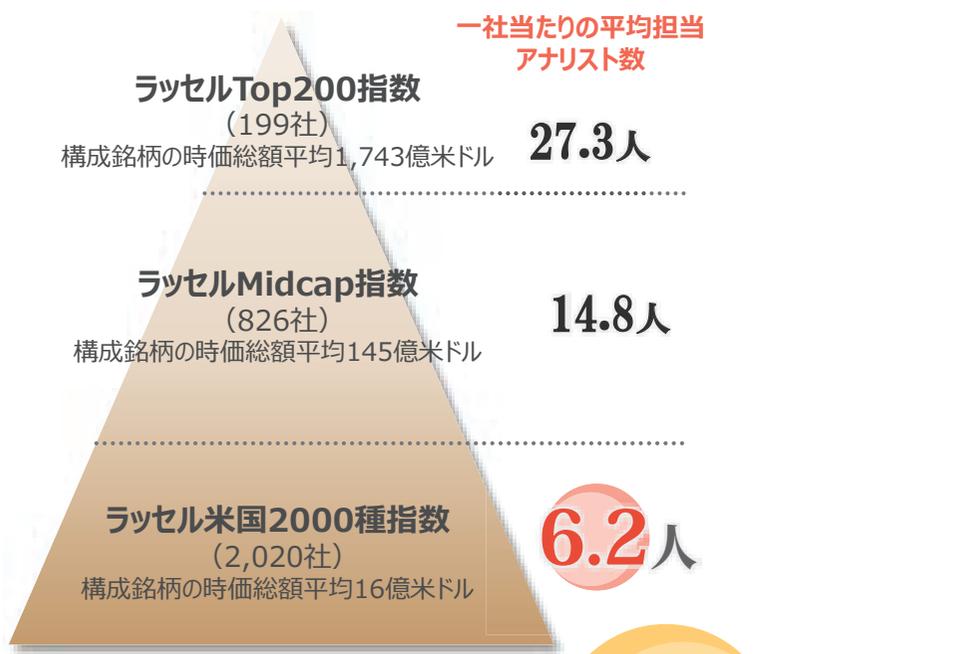
(出所) ブルームバーグ

米国小型株投資の魅力②

- 一般に小型株は大型株と比べて担当アナリストの数が少ない傾向にあるため、企業の成長性等が株価に反映されていないことが多く、運用者の銘柄発掘により、収益獲得の大きな機会が存在します。
- また、米国は「ユニコーン企業」と呼ばれる、企業価値が10億米ドルを超える未上場企業も多く、次々と新しい分野でイノベーションの担い手が現れるのも米国小型株の魅力です。

米国企業一社当たりの平均担当アナリスト数 (指数別)

(2022年2月末現在)



一般に小型株は、
運用担当者による銘柄発掘により、
収益獲得の大きな機会が存在する

ユニコーン企業数

(2022年2月2日現在)

世界のユニコーン企業の
約半数を米国が占める

51.0%



ユニコーン企業とは…
企業価値が10億米ドルを超える未上場
企業でイノベーションの担い手として注目
を集めています。

(出所) ブルームバーグ、CB Insights



ケイン・アンダーソン・ラドニック社の投資哲学

INVESTMENT PHILOSOPHY

競争力の持続するハイクオリティ・ビジネス企業に投資

Kayne Anderson Rudnick Investment Management

持続的な競争優位性をもつ企業（ハイクオリティ・ビジネス企業）へ適正な株価で投資を行なうことで優れたパフォーマンスを獲得する

 **同社の考えるハイクオリティ・ビジネス企業とは…**

健全な財務基盤、十分なフリーキャッシュフロー、高いROIC（投下資本利益率）などの財務面での特徴に加え、高い**競争優位性をもつ企業**。

日本の投資家の皆さまへ

この度、日本の投資家の皆さまに私たちの運用戦略を提供できることに、深く感謝しています。私たちが厳選して投資を行なう、高品質な企業ポートフォリオが持続的な皆さまの資産形成の一助になることを確信しています。

私たちは、クオリティの高いビジネスを行なう企業に厳選して投資することが、長期的に高いリターンを生み出すという哲学の下、運用しています。

ハイクオリティ・ビジネス企業は、高い競争優位性を有し、持続的に高い利益を生み出しています。

私たちはこうした企業を長年にわたり発掘してきた実績があり、これからも継続して実践していきます。

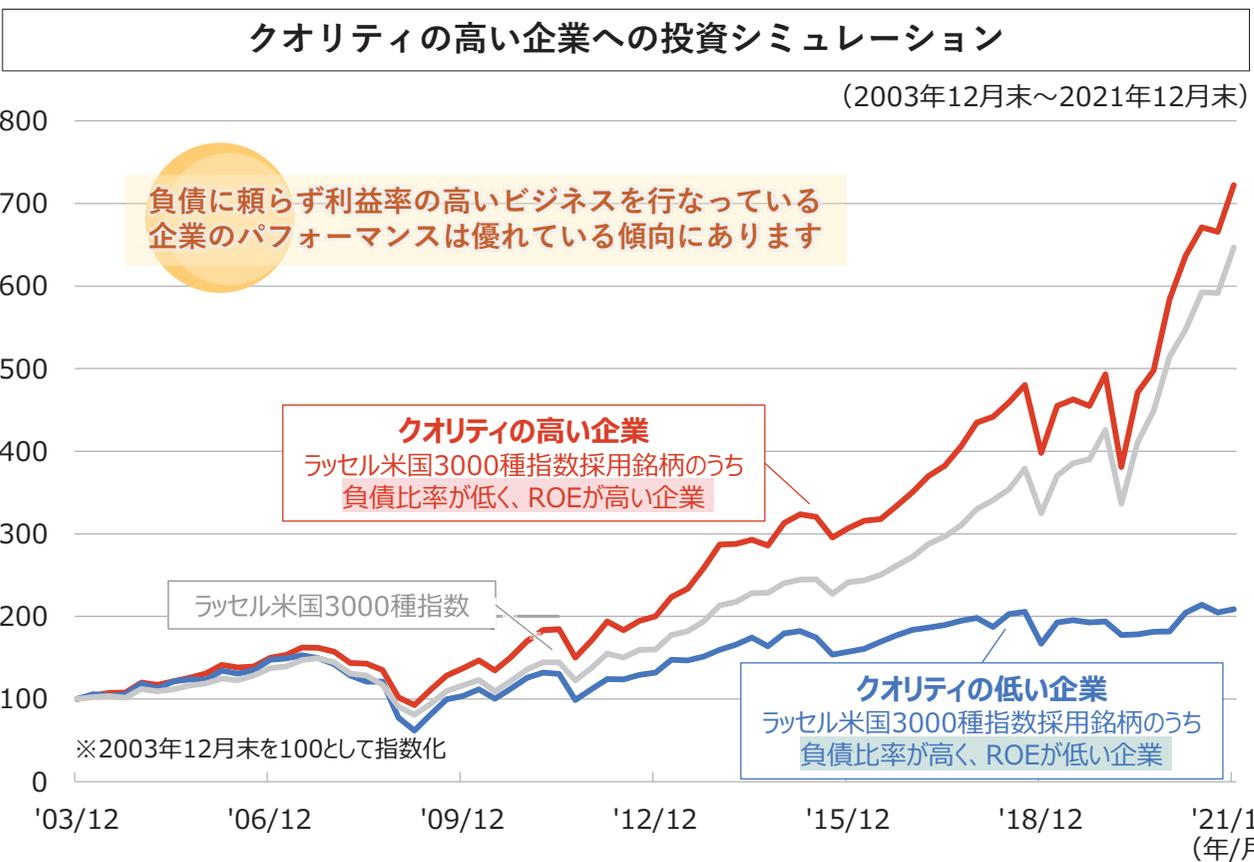


Todd Bailey
運用担当者兼
シニアリサーチ・アナリスト

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社

ハイクオリティ・ビジネス企業に投資する意義

- 当ファンドでは、高い利益率を長期にわたり維持して、持続的に利益成長が期待できるビジネスを行なう企業、すなわち **ハイクオリティ・ビジネス企業** を選定し投資を行ないます。
- 高い利益率を有するクオリティの高い企業のパフォーマンスは、米国株を広くカバーするラッセル米国3000種指数を長期的に上回ってきました。



ご参考

ハイクオリティ・ビジネス企業の特徴

ハイクオリティ・ビジネス企業は企業固有の高い競争力により景気循環による影響を受けづらく、安定した利益成長が継続する傾向にあります。

ハイクオリティ・ビジネス企業の利益成長のイメージ図

■ 景気拡大期 ■ 景気後退期

利益

時間

ハイクオリティ・ビジネス企業

一般的な企業

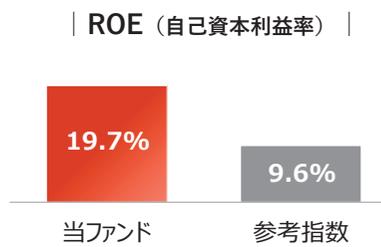
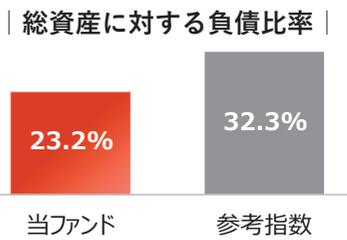
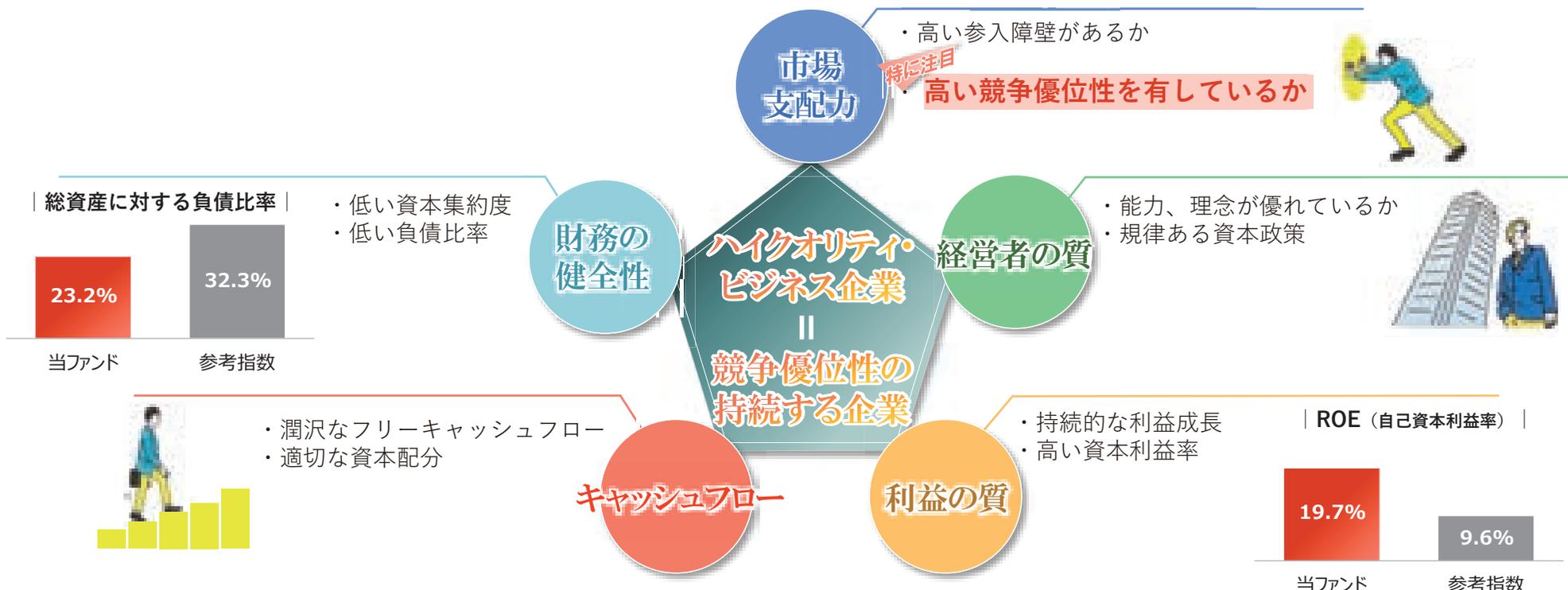
※ラッセル米国3000種指数は米ドルベース、配当込み。※クオリティの高い企業はラッセル米国3000種指数採用銘柄の中から四半期毎のリバランス時にROEが15%以上かつ総資産に対する負債比率が30%未満（クオリティの低い企業はROEが15%未満かつ総資産に対する負債比率が30%以上）の企業を選出し、投資した場合のシミュレーション。※上記はケイン・アンダーソン・ラドニック社が定量的な銘柄スクリーニングにより運用を行なった場合のシミュレーション結果を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。
(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ



ケイン・アンダーソン・ラドニック社の投資視点

ビジネス・アナリストの視点で、そのビジネスが競争優位性を長期にわたり持続できるか見極める

ハイクオリティ・ビジネス企業を見つける 5つの視点



※上記の図はイメージです。※総資産に対する負債比率とROEの基準日は2022年2月28日。※ROEは過去5年間の平均値。※参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

確信度の高い銘柄への厳選投資

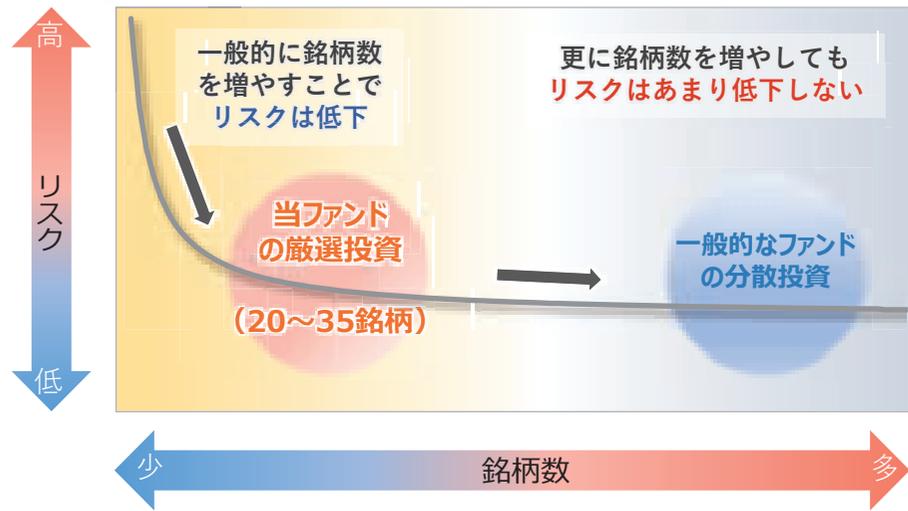
- 当ファンドでは、分散投資の効果を考慮しつつ、徹底した調査を基に、十分に理解を深めた銘柄に厳選投資を行なうことで、ポートフォリオにおける想定外の要因による**価格下落リスク（不確実性）を抑制する**と同時に**高いパフォーマンスを享受する**よう努めています。

確信度の高い銘柄に厳選投資する理由

理由

1

銘柄数を多くしても**リスク抑制効果は限定的**



理由

2

徹底的に調査した銘柄に投資するほうが**不確実性は小さい**



確信度の高いハイクオリティ・ビジネス企業への厳選投資で、銘柄固有リスクの抑制を図りつつ、優れたパフォーマンスを追求します。

※上記はケイン・アンダーソン・ラドニック社の考えに基づくイメージです。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※裏表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。



当ファンドの類似戦略のパフォーマンス実績

- 当ファンドの類似戦略は、1998年の設定から20年超の運用実績を有しており、その期間において参考指数を大きく上回るパフォーマンスを達成してきました。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

類似戦略のパフォーマンス推移 (米ドルベース、配当込み)

(類似戦略の運用開始日 (1998年1月初) ~ 2022年2月末)

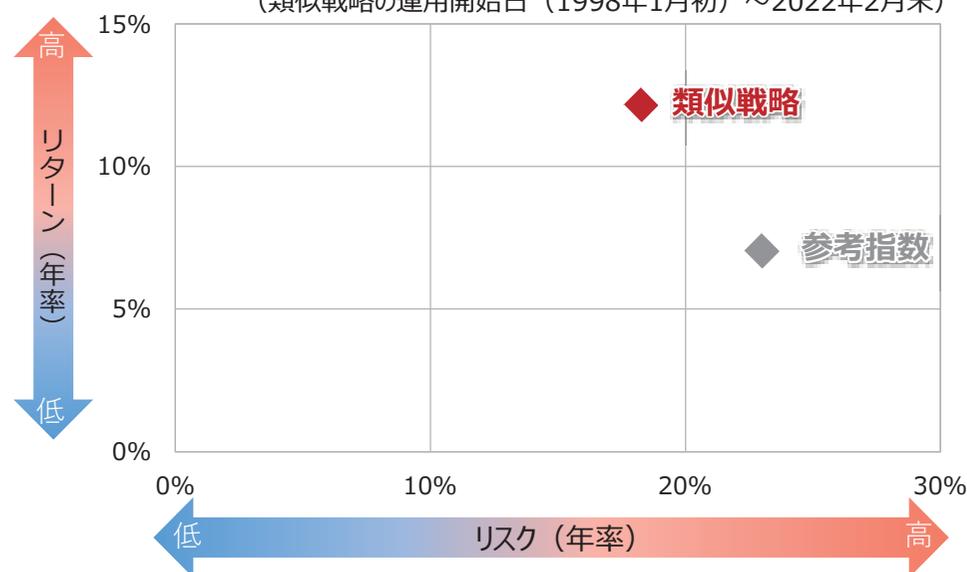


| 期間別騰落率 (年率換算) |

	3年	5年	10年	運用開始来
類似戦略	+16.4%	+22.5%	+19.5%	+12.1%
参考指数	+9.2%	+10.5%	+11.4%	+7.0%
超過リターン	+7.2%	+12.0%	+8.1%	+5.1%

リスク・リターン特性 (米ドルベース、配当込み)

(類似戦略の運用開始日 (1998年1月初) ~ 2022年2月末)



	類似戦略	参考指数
リターン	12.1%	7.0%
リスク	18.3%	23.0%
リターン/リスク	0.66	0.31

※類似戦略のパフォーマンスは、費用控除前、米ドルベース、配当込み。※参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

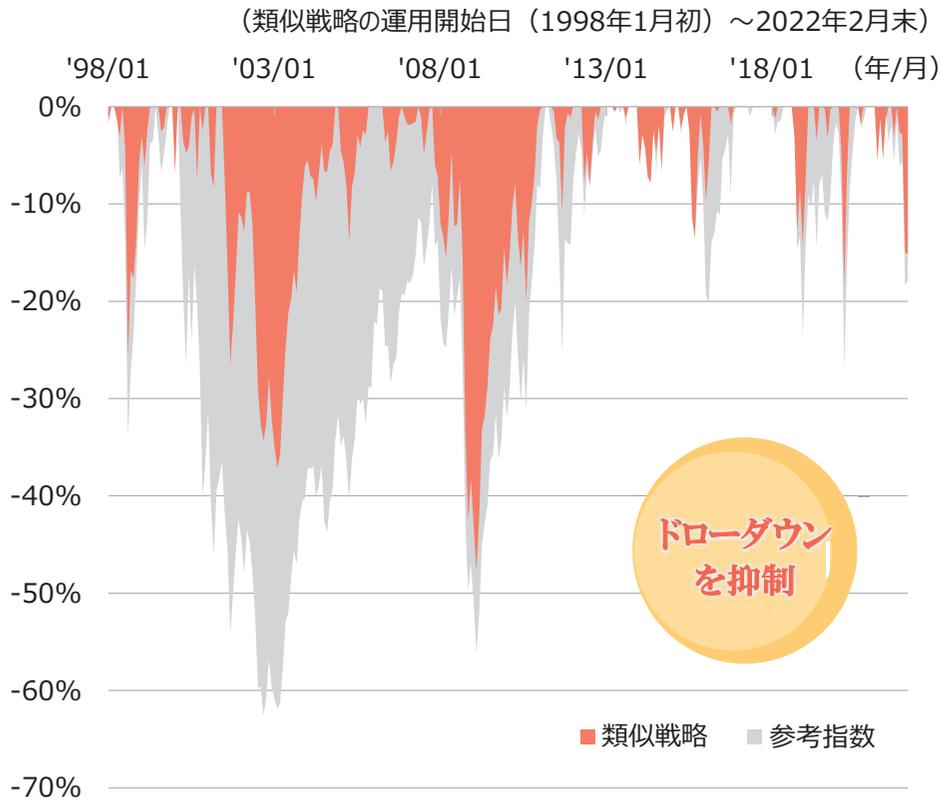
※裏表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

パフォーマンス特性

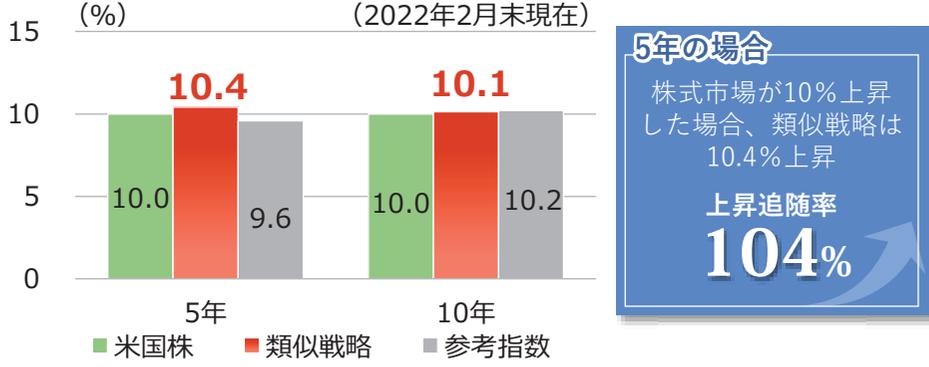
- 当ファンドの類似戦略は、過去に大きく相場が下落した局面においても、高い下値抵抗力を発揮してきました。
- これにより株式市場が上昇・下落を繰り返す中でも、中長期的には高いパフォーマンスを実現しています。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

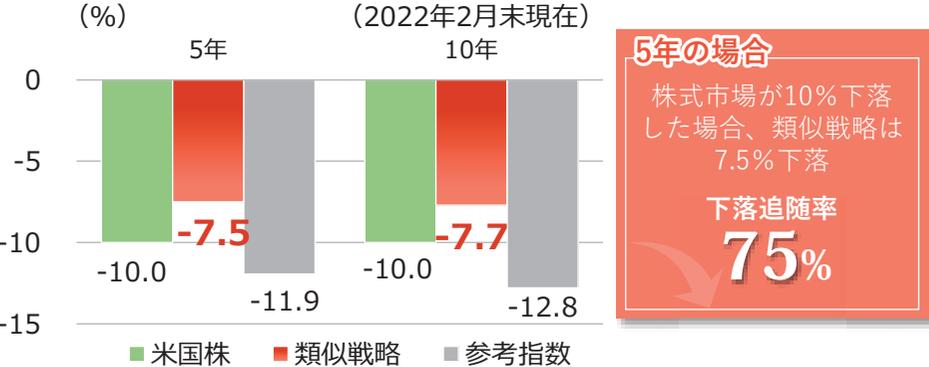
最大下落率の推移 (米ドルベース、配当込み、月次)



相場上昇局面における上昇追従率*



相場下落局面における下落追従率*



* 上昇 (下落) 追従率とは、株式市場が10%上昇 (下落) したときに、類似戦略が10%に対してどれだけ上昇 (下落) したかを示す値です。※類似戦略のパフォーマンスは、費用控除前、米ドルベース、配当込み。※参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。※指数については、裏表紙の「当資料で使用した指数について」をご覧ください。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

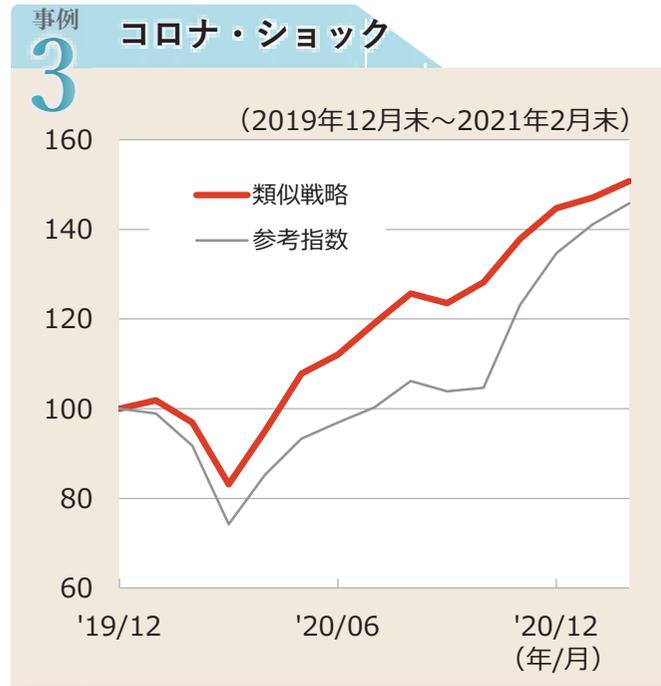
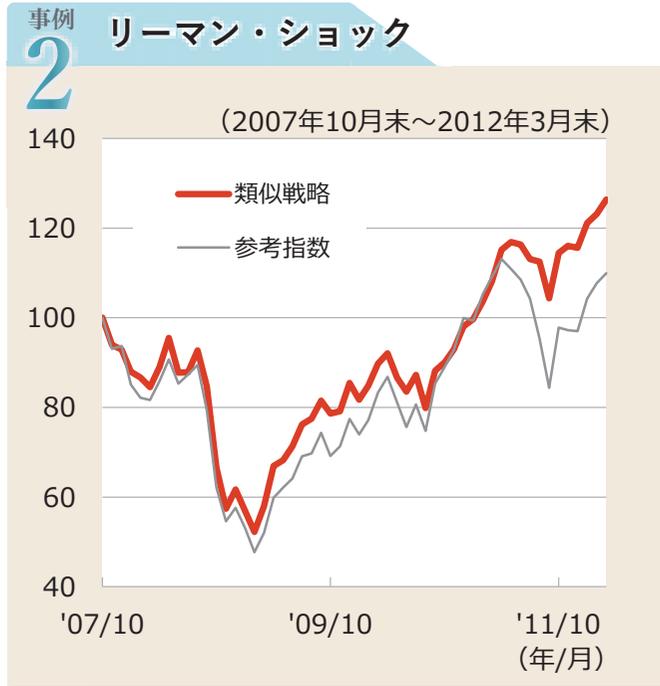
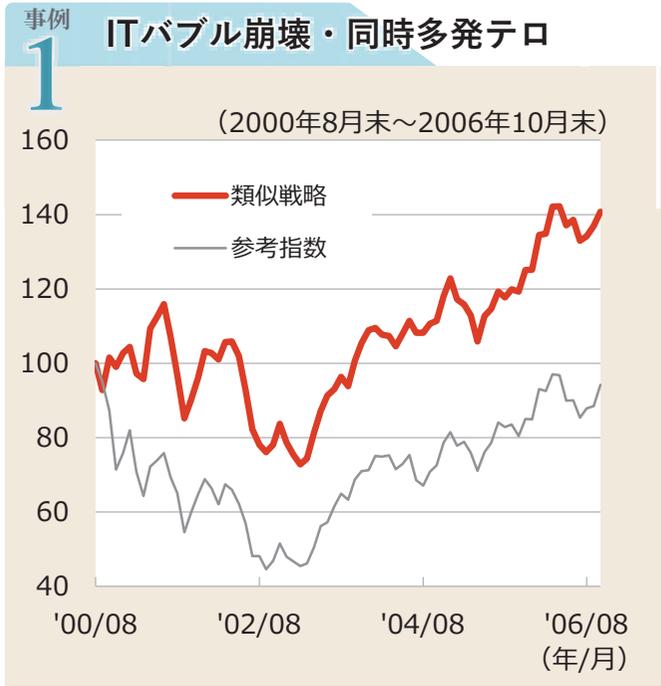
(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ、Morningstar Directのデータに基づき大和アセットマネジメントが作成

過去ショック時の値動き

- 当ファンドの類似戦略は、これまでリーマン・ショックなどの調整局面を乗り越え、**超過収益を獲得**してきました。
- 過去の事例から、**下落リスクの抑制ができて**いるということだけでなく、ITバブル崩壊・同時多発テロやコロナ・ショック時においては、その後**素早い戻り**を見せていることがわかります。
- 今後、不透明な投資環境が続くなかで株式市場が調整する局面も想定されます。過去の下落局面で下値抵抗力を示した類似戦略の特性からも下落リスクを抑制することが期待されます。

下落局面でのパフォーマンス実績 (米ドルベース、配当込み)

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。



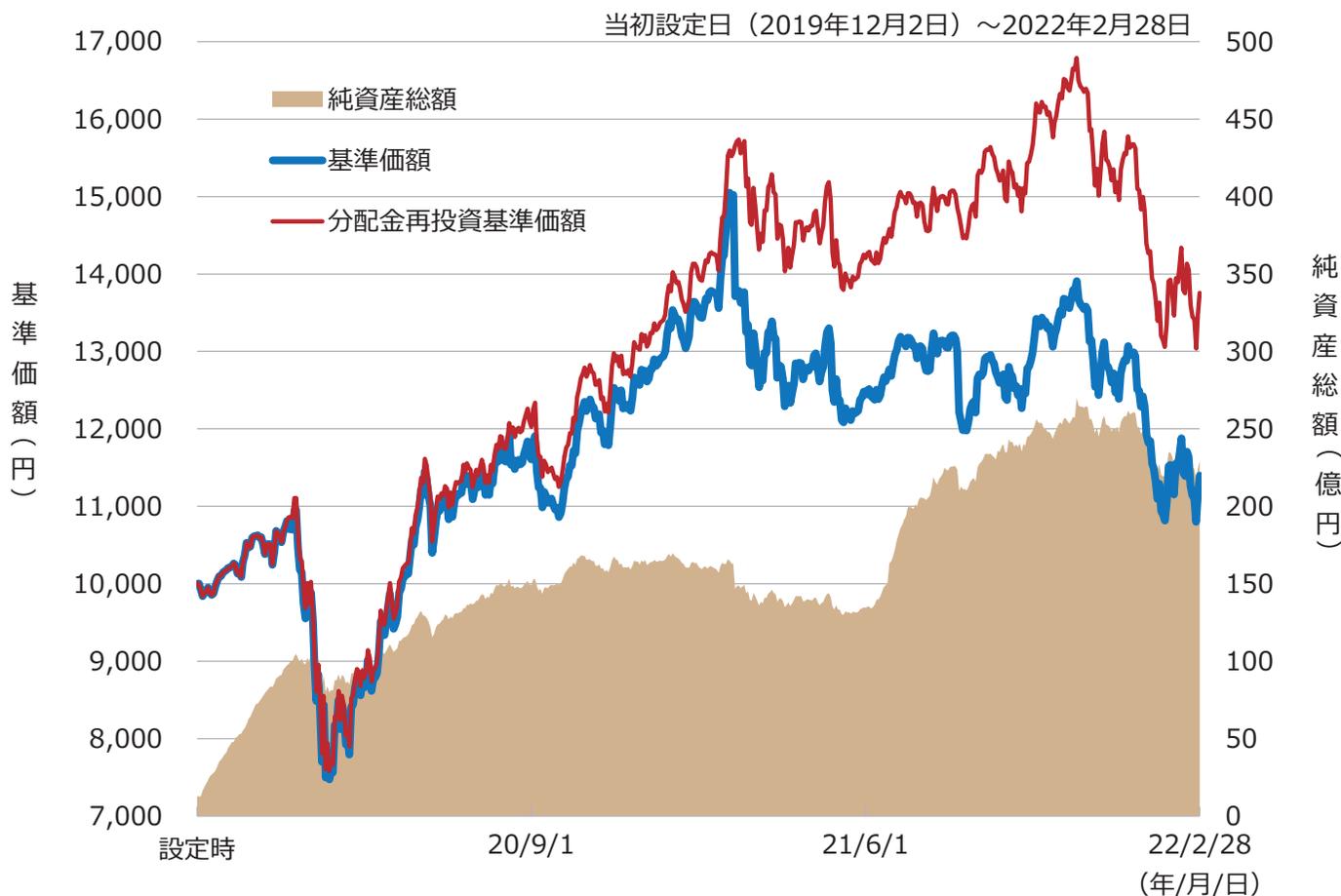
※各グラフの起点を100として指数化。※類似戦略のパフォーマンスは、費用控除前、米ドルベース、配当込み。※参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。
 ※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
 (出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ



当ファンドの運用状況

基準日：2022年2月28日

基準価額（1万口当たり）・純資産総額の推移



基準価額	11,394円
純資産総額	229億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+3.1%
3カ月間	-13.3%
6カ月間	-10.3%
1年間	-6.2%
年初来	-12.2%
設定来	+37.5%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

決算期	年/月	分配金
第1期	(20/02)	150円
第2期	(20/08)	250円
第3期	(21/02)	1,400円
第4期	(21/08)	700円
第5期	(22/02)	0円
設定来分配金合計		2,500円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（「ファンドの費用」をご覧ください）。※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※裏表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

当ファンドのポートフォリオ特性

基準日：2022年2月28日

主要な資産の状況

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国株式	33	94.4%
コール・ローン、その他		5.6%
合計	33	100.0%

国・地域別構成		合計94.4%
国・地域名	比率	
アメリカ	80.4%	
イギリス	11.4%	
中国	2.6%	

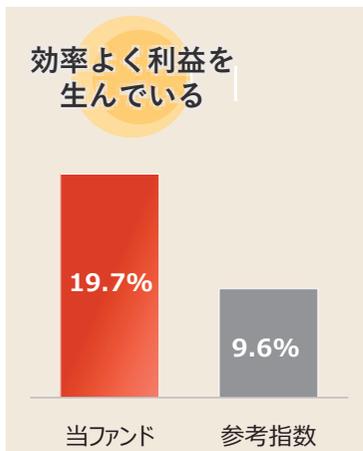
業種別構成		合計94.4%
業種名	比率	
金融	26.3%	
情報技術	24.5%	
コミュニケーション・サービス	15.1%	
一般消費財・サービス	12.4%	
資本財・サービス	8.2%	
ヘルスケア	4.2%	
生活必需品	3.9%	

通貨別構成		合計100.0%
通貨	比率	
米ドル	99.2%	
日本円	0.8%	

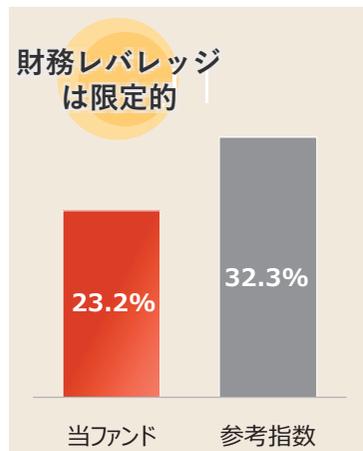
※比率は、純資産総額に対するものです。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。
 ※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。
 ※四捨五入の関係で比率の合計が一致しない場合があります。

ポートフォリオ特性値

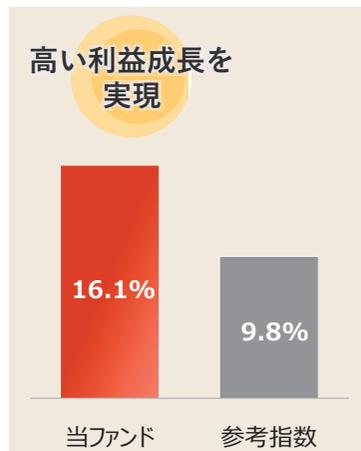
ROE（自己資本利益率）



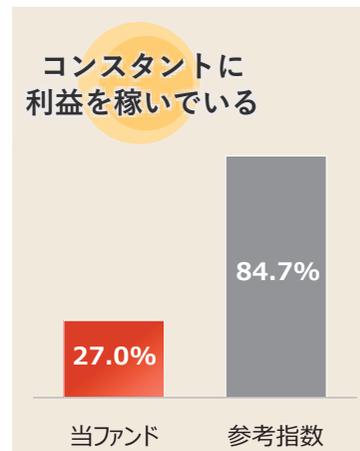
総資産に対する負債比率



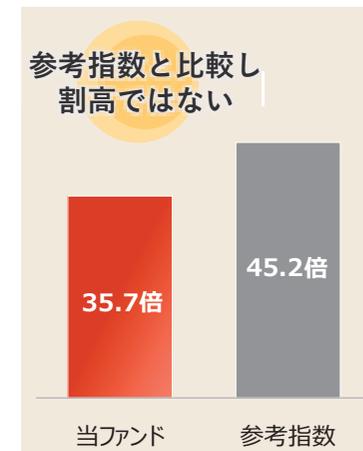
利益の成長率



利益の変動率



予想PER（株価収益率）



※ROEは過去5年間の平均値。※利益の成長率と変動率は過去10年間のEPS（一株当たり利益）のデータを基に算出しています。利益の成長率は年率換算。利益の変動率は、変動性（ばらつき）を示しています。※予想PERの値は、今期予想のデータを基に算出しています。※参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）ケイン・アンダーソン・ラドニック社



当ファンドの組入上位10銘柄

基準日：2022年2月28日

銘柄名	業種名/ティッカー	比率	概要
BILL.COM HOLDINGS INC ビルドットコム・ホールディングス	情報技術 BILL	8.1%	請求書や領収書取引を電子化するソフトウェア会社。会計ソフトや金融機関との連携により、決済までの手間を削減。米国公認会計士協会も認める信頼性の高いソフトで、中小企業から大企業にユーザーを拡大している。
FOX FACTORY HOLDING CORP フォックス・ファクトリー・ホールディング	一般消費財・サービス FOXF	8.0%	主にマウンテンバイク、オフロード車両、トラック、オートバイに使用される高性能なサスペンションを設計・製造している。高性能マウンテンバイクのサスペンションで高い市場シェアを有しており、性能とブランド力を武器に高い収益性を実現している。オフロード車両でもブランドの認知が進んでおり、安定した成長が見込まれる。
RYAN SPECIALTY GROUP HOLDINGS INC ライアン・スペシャリティ・グループ・ホールディング	金融 RYAN	6.9%	保険業界における独立系ホールセール・ブローカーとしてトップクラスの規模を持ち、独立系ゆえに幅広い保険代理店やリテール・ブローカー（保険仲立人）を相手に業務を拡大している。一方、保険会社や再保険会社にとっては、被保険者の情報を集約できる同社からの情報・サービスは、リスクマネジメントにおいて貴重なものとなっている。
AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR オート・トレーダー・グループ	コミュニケーション・サービス ATDRY	6.0%	英国のオンライン自動車売買サイトの最大手。中古車が大半ながら、近年は新車取扱いも急増中。同社サイトは、業界2位と比較して閲覧者（買手）、掲載車数（売手/在庫）において圧倒的なシェアを獲得しており、それが参加者をさらに増やす好循環に繋がっている。
RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR ライトムーブ	コミュニケーション・サービス RTMVY	5.4%	英国最大級の住居用不動産ウェブサイトを運営。英国の住宅価格の変化を掲載する情報誌を出版しており、住宅購入者の購買行動を変えたことで、強力なネットワーク効果を確立。高い競争優位性を保有している。
MORNINGSTAR INC モーニングスター	金融 MORN	4.6%	投資情報サービス会社。ミューチュアルファンド、株式、および変額年金を対象としたデータ、リサーチ、分析を手掛ける。個人、運用会社、機関投資家向けに、印刷物、ソフトウェア、インターネット経由などさまざまな形態でサービスを提供しており、信頼度の高い情報ベンダーである。
SERVISFIRST BANCSHARES INC サービスファースト・バンクシェアーズ	金融 SFBS	3.9%	米国南東部アラバマ州を地盤とする「預金とローン」に特化した地方銀行。経験豊富なバンカーを採用する一方で、店舗をなるべく持たず、リスクは本社で統合的に管理する運営を行なっている。地場経済に深く食い込んでいるがゆえの意思決定のスピード、有能な人材、効率的なコスト構造に強みを持っており、2005年創業の若い銀行ながら、シェアを上げている。
INTERACTIVE BROKERS GRO-CL A インタラクティブ・ブローカーズ・グループ	金融 IBKR	3.7%	マーケットメーカー兼ブローカー。証券、先物、為替、債券及び投資信託などの注文回送や取引執行、事務処理を専門に取扱う。自動化による低コストオペレーションにより、規模の経済の働きやすい事業構造になっている。低い手数料、低いマージン率、および良好な執行を特徴に世界的に展開。
ASPEN TECHNOLOGY INC アспен・テクノロジー	情報技術 AZPN	3.7%	化学、エンジニアリング、建設、エネルギー市場をターゲットとした、プロセス最適化ソフトウェアの業界リーダー。プロセスやサプライチェーンにおけるデータの見える化と最適化に加え、A I（人工知能）関連技術も積極的に取り込んでいる。業務効率化を通じて顧客の収益力向上に貢献しており、今後も成長が見込まれる。
OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI オリーズ・バーゲン・アウトレット・ホールディングス	一般消費財・サービス OLLI	3.4%	ディスカウントショップ・チェーン会社。「良い物を安く」買えることに加え、「掘り出し物を見つける楽しみ」が顧客満足度を高めている。米国東部中心に店舗展開をしており、規模による調達面の優位性を持っている。エリア拡大による成長余地も大きい。

※比率は、純資産総額に対するものです。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。※銘柄名は大和アセットマネジメントが信頼できる情報を基に日本語表記したものであり、正式名称と異なる場合があります。※銘柄概要はケイン・アンダーソン・ラドニック社が提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※裏表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。



米国小型株をはじめとする米国株式運用に強みがある ケイン・アンダーソン・ラドニック社 が運用します

- ケイン・アンダーソン・ラドニック社は、米ナスダック市場に上場する
バータス・インベストメント・パートナーズ傘下の、米ロサンゼルスを本拠
地とする資産運用会社です。

企業概要

(2021年12月末現在)



設立 | **1984年**



事業拠点 | **11カ所**



運用資産
残高 | **650億米ドル**



社員数 | **111名**



平均運用年数 | **17年**

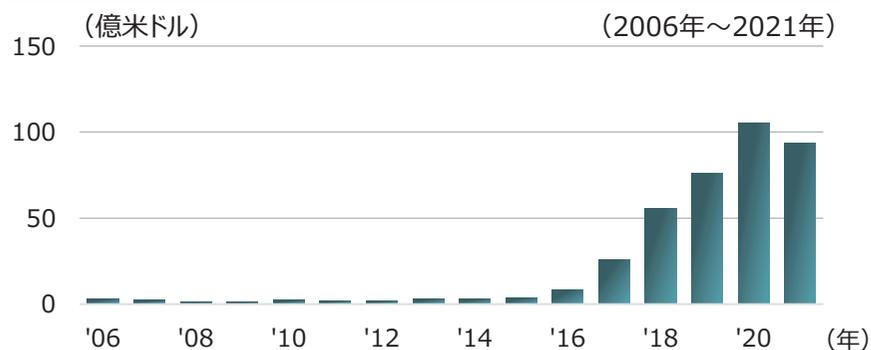
※上記の図、写真はイメージです。



主な沿革

- 1984 会社設立
- 1998 当ファンドの類似戦略の運用を開始
- 2005 バータス・インベストメント・パートナーズの傘下入り
- 2012 グローバル株式の運用を開始
- 2015 運用資産残高100億米ドル達成
- 2020 運用資産残高500億米ドル達成

当ファンドの類似戦略の運用資産残高の推移



社名の由来について

ケイン・アンダーソン・ラドニック (KAR) 社のルーツは、ロサンゼルス
の億万長者ジョン・アンダーソン (Anderson) 氏にあります。
1984年にアンダーソン氏は、自らの資産の運用管理のために、
リチャード・ケイン (Kayne) 氏とともに同社を設立しました。
その後、1989年に株式ポートフォリオの運用担当者として、アラン・
ラドニック (Rudnick) 氏が加わりました。
同社の社名はこの創業時の人々に由来しています。

Kayne Anderson Rudnick

主な運用チームメンバー



Todd Bailey

ポートフォリオ・マネージャー兼
シニアリサーチ・アナリスト

| 主な担当 | 通信, エネルギーセクター
| 運用経験 | 約22年
| 入社年 | 2002年



Jon K. Christensen

ポートフォリオ・マネージャー兼
シニアリサーチ・アナリスト

| 主な担当 | ヘルスケアセクター
| 運用経験 | 約26年
| 入社年 | 2001年

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社

ハイクオリティ・ビジネス企業のご紹介①

※下記の図、写真はイメージです。
下記でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

FOX FACTORY HOLDING CORP

フォックス・ファクトリー・ホールディング

業種名 | 一般消費財・サービス

- 企業概要
- マウンテンバイクや、オフロード車両向けの高性能サスペンションを設計・製造。
 - 高性能マウンテンバイクのサスペンション等で高いシェアを誇り、培った品質とブランド力によってピックアップ・トラック向けなどにも事業を拡大。

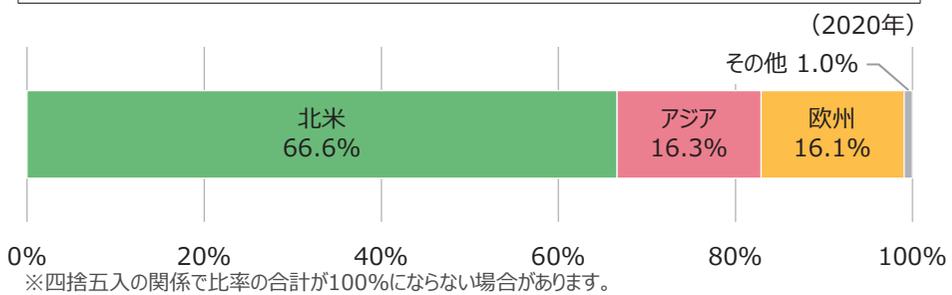


ケイン・アンダーソン・ラドニック社の着眼点

ブランド力 マウンテンバイク向け高性能サスペンションにおける高いブランド力を武器に、オフロード車両やその他車両への事業拡大を期待。

高い利益率 ブランド力や価格交渉力の高さが ROE、ROICなどの高さに反映されている。投資効率の高さは事業拡大においても優位になると判断。

地域別売上高



ROE (自己資本利益率)



※ROEは過去5年間の平均値。※参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ

株価とEPSの推移



株価：2014年12月末～2022年2月末
EPS：2015年～2023年（2022年以降は2022年3月のブルームバーグ予想）

ハイクオリティ・ビジネス企業のご紹介②

※下記の図、写真はイメージです。
 下記でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

SPS COMMERCE INC SPSコマース

業種名 | 情報技術

企業概要

- ・ クラウドベースでサプライチェーン管理ソフトを提供する会社。
- ・ 自動発注システムによって小売業界を支えている。



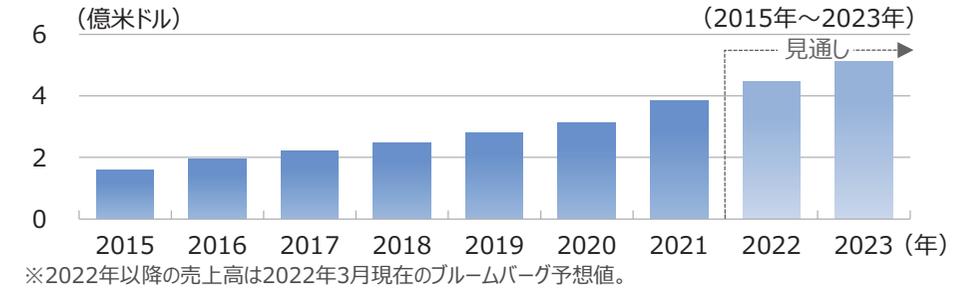
ケイン・アンダーソン・ラドニック社の着眼点

- 規模の経済** 発注ルールのパターンを多く保有しており、システム開発、更新にかかる時間を短縮化できる。
- ネットワーク効果** 小売、物流、商品納入業者など提携業者数が多く、利便性の高いシステムを構築している。
- 高い参入障壁** 1契約あたりの単価は安く、発注ルールをそろえる作業は複雑なため、新規で参入するメリットがあまりない。

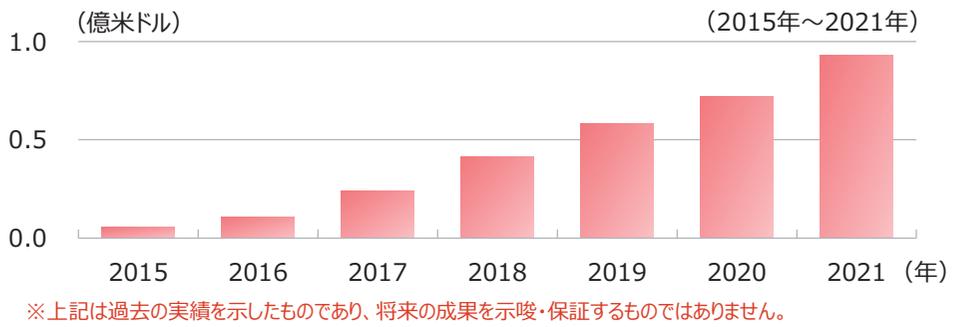
株価とEPSの推移



売上高の推移



フリーキャッシュフローの推移



(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ

ハイクオリティ・ビジネス企業のご紹介③

※下記の図、写真はイメージです。
 下記でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

BILL.COM HOLDINGS INC

ビルドットコム・ホールディングス

業種名 | 情報技術



企業概要

- ・ 請求書や領収書取引を電子化するソフトウェア会社。
- ・ 会計ソフトや金融機関との連携により、決済までの手間を削減。

ケイン・アンダーソン・ラドニック社の着眼点

- ブランドカ** 米国公認会計士協会も認める信頼性の高いソフト。
- 乗り換えコストの高さ** 決済に関するソフトは一旦評判を得ると置き換えが難しい。同社は電子化、クラウド化で業界をリードしており優位性は続く。
- 成長余地** 大企業へのユーザー層の拡大と、関連する分野への横展開などにより成長余地が大きい。

株価とEPSの推移



株価：2019年12月末～2022年2月末
 EPS：2020年～2023年（2022年以降は2022年3月のブルームバーグ予想）

RYAN SPECIALTY GROUP HOLDINGS INC

ライアン・スペシャリティ・グループ・ホールディング

業種名 | 金融



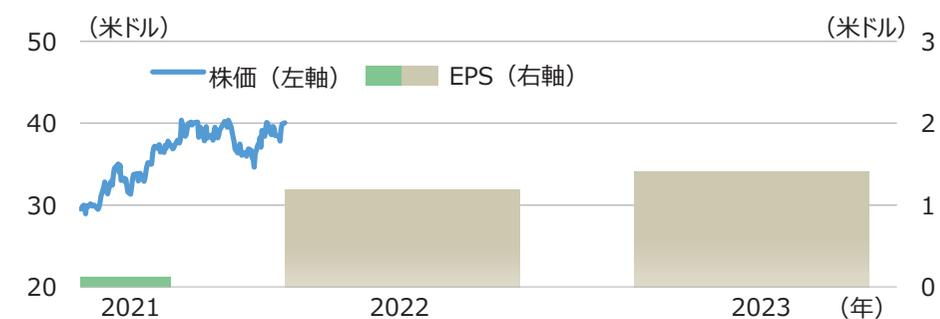
企業概要

- ・ 保険業界のスペシャリスト。
- ・ 保険業界における独立系ホールセール・ブローカーとしてトップクラスの規模を有する。

ケイン・アンダーソン・ラドニック社の着眼点

- 規模の経済、高い付加価値** 独立系の保険代理店が主流の米国で、保険ブローカーの同社が保険代理店のニーズを集約することで、保険会社の商品開発に貢献している。特に、気候変動、サイバーセキュリティなどカスタマイズの必要な保険分野で、代理店のニーズを広く把握できることが高い付加価値になっている。

株価とEPSの推移



株価：2021年7月末～2022年2月末
 EPS：2021年～2023年（2022年以降は2022年3月のブルームバーグ予想）
 （出所）ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーグ

ハイクオリティ・ビジネス企業のご紹介④

※下記の図、写真はイメージです。
下記でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

AAON INC エーオン

業種名 | 資本財・サービス



企業概要

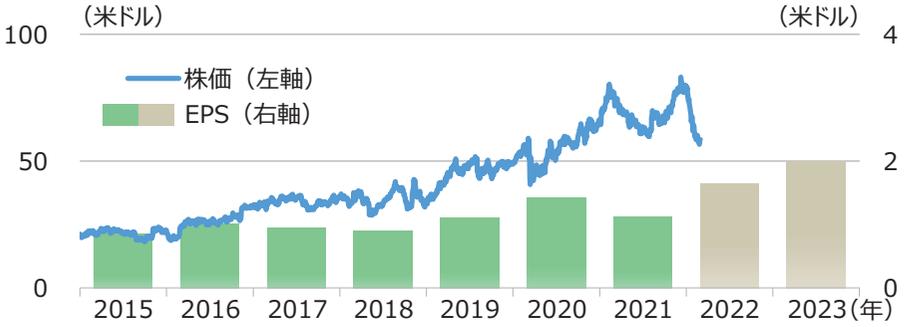
- 産業用空調設備機器メーカー。
- セミカスタマイズの空調機を効率的に製造するプロセスを導入したことで、エネルギー効率を高めるなど付加価値の高い製品を提供できる点が特徴になっている。

ケイン・アンダーソン・ラドニック社の着眼点

高い資本効率 価格競争に陥りにくい付加価値の高いセミカスタマイズ製品を、効率的に製造できるため資本効率が高い。

安定的な収益源 売上高の半分が更新需要で、一般的な機械メーカーと比べ景気変動による影響を受けにくい。借入も少なく、不況に強いことが競争優位性になっている。

株価とEPSの推移



株価：2014年12月末～2022年2月末
EPS：2015年～2023年（2022年以降は2022年3月のブルームバーク予想）

SERVISFIRST BANCSHARES INC サービスファースト・バンクシェアーズ

業種名 | 金融



企業概要

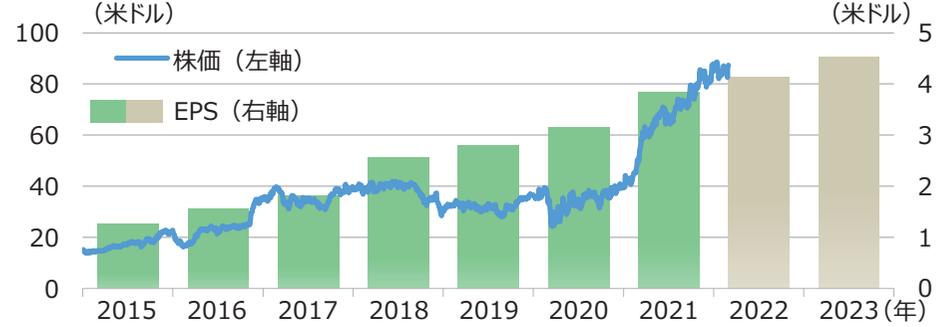
- 「預金とローン」に特化した地方銀行。
- 中小企業向けローンを得意としており、コスト効率の高い店舗運営が特徴。

ケイン・アンダーソン・ラドニック社の着眼点

高い資本効率 リスクを本社で管理する一方で、各営業エリアに権限をもたせることで、店舗コストを抑えた機動的な運営を行なっている。

高い付加価値 有能な営業人材を集め、地場経済への知見により、大手が手掛けない付加価値の高い中小企業向けローンを提供する。

株価とEPSの推移



株価：2014年12月末～2022年2月末
EPS：2015年～2023年（2022年以降は2022年3月のブルームバーク予想）

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック社、ブルームバーク



ファンドの特色

1 米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業を厳選し投資します。

(注1) 「米国の小型株式」とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式のうち、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが、時価総額をもとに小型と判断した銘柄を指します。※「株式」にはDR（預託証券）、「上場」には上場予定、「店頭登録」には店頭登録予定をそれぞれ含みます。

(注2) 一部、小型株式に該当しない銘柄に投資します。

2 米国の小型株式等の運用は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが行ないます。

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみならずほかから買取りした資産をすべてペディファンド（母ファンド）とし、その利益をすべてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的に運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

・マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
 ・マザーファンドにおいて、株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
 ・為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

《分配について》

毎年2月15日および8月15日（休業日の場合、翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

分配方針	<ul style="list-style-type: none"> 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます）等とします。 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
------	--

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

〈主な変動要因〉 ※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

株価の変動 (価格変動リスク・ 信用リスク)	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。 発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。 組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 中小型株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。 当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。 組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。 この場合、基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

リスクの管理体制

- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通じ、運用リスクの管理を行ないます。委託会社は、運用委託先とファンド運営上の諸方針を反映している運用委託契約に基づく投資ガイドラインを締結し、運用の状況、投資ガイドラインの遵守状況等をモニタリングします。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ないます。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。



ファンドの費用

※くわしくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。
 ※消費税率10%の場合

お客さまが直接的に負担する費用

料率等		費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率<上限> <u>3.3% (税込)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

料率等		費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<u>年率1.958% (税込)</u>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
その他の費用・ 手数料	「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
 ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



お申込みメモ

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
購入・換金価額	申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
信託期間	2029年8月15日まで（2019年12月2日当初設定） 受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。
繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> ● ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントと締結した運用指図権限の委託にかかる契約が終了した場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年2月15日および8月15日（休業日の場合、翌営業日）
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせください。
信託金の限度額	1,000億円
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせください。※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

受託会社	野村信託銀行株式会社	委託会社	大和アセットマネジメント株式会社 お電話によるお問合わせ先：フリーダイヤル 0120-106212 (営業日の9:00~17:00) ホームページアドレス： https://www.daiwa-am.co.jp/
------	------------	------	---

当資料のお取扱いにおけるご注意等

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料で掲載した画像等はイメージです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。
- 業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

当資料で使用した指数について

- ・ 米国小型株：ラッセル米国2000種指数（米ドルベース、配当込み）
- ・ 米国大型株：ラッセル米国1000種指数（米ドルベース、配当込み）
- ・ 米国株：S & P500種指数（米ドルベース、配当込み）
- ・ 世界株：MSCI オールカントリー ワールド インデックス（米ドルベース、配当込み）
- ・ 世界株（除く米国）：MSCI オールカントリー ワールド インデックス（除く米国）（米ドルベース、配当込み）
- ・ 日本株：TOPIX（円ベース、配当込み）
- ・ 参考指数：ラッセル米国2000成長株指数（米ドルベース、配当込み）

P.2のMorningstarレーティングに関する注意事項

※2022年2月末現在の米国小型成長株カテゴリーにおける総合的なMorningstarレーティング。各ファンドの総合的なMorningstarレーティングは、3年、5年、および10年のMorningstarレーティングの加重平均から導き出されます。Morningstarレーティングは過去の運用実績に基づいた評価であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

©2022 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

- ここに含まれる情報は、
- (1) Morningstarおよび/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、
 - (2) 複製または配布してはならず、
 - (3) ライセンサーおよびMorningstarが提供する投資等の助言ではなく、
 - (4) 正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。

Morningstarおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。